



「ありがたきもの」

ありがたい、とは有難いと書く。もともととは、存在することがむずかしいの意だったようだ。だから、存在がまれであるとか、なかなかありそうにない、めったにないという意味だったようだ。

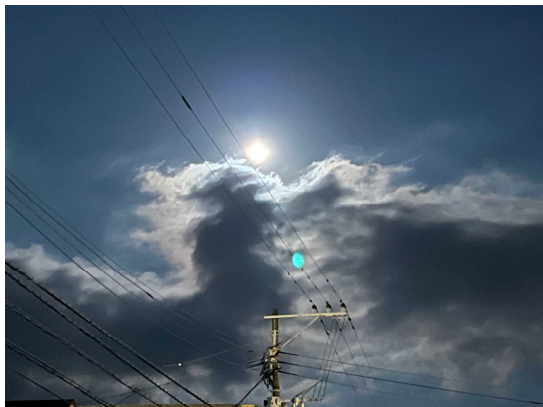


(トラクター好きのサギ 宮崎市跡江 2023.12.25)

あることが難しい、という意味からか、世に生きることがむずかしい、生活しにくいなどの意味にも転じたようだ。

現在では、優れているとか、またとなく尊い、喜ばしく思う、うれしいなどの気持ちを総称して、ありがとうを使っていると思う。

一日の生活の中で何人の人にありがとうと声をかけているだろうか？

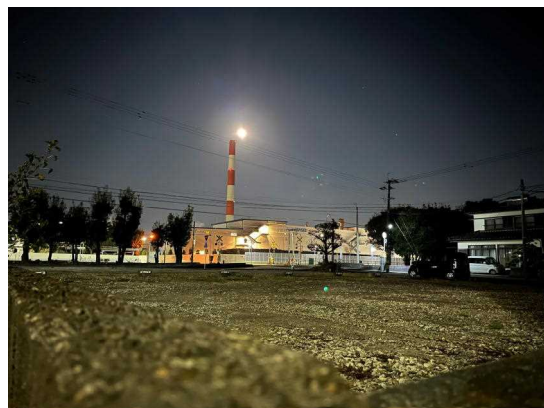


(夜の月 延岡市別府町 2023.12.27 19:17)

そんな折に、懐かしい人たちから案内が来た。彼らに初めて会ったのは、29歳の時で、彼らはまだ12歳であった。

中学生という多感な時に一緒に過ごした3年間、わずか3年間なのに、話をするとよくいろいろと覚えているものだ。

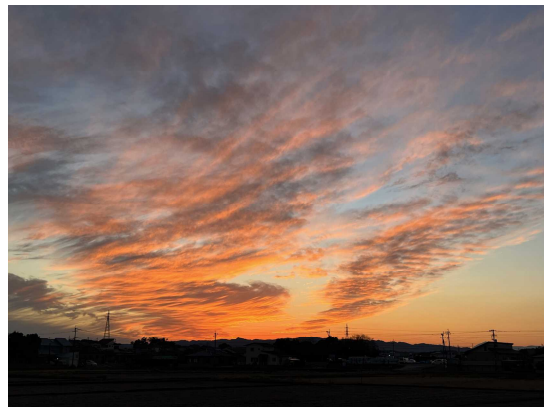
自分はすっかり忘れてしまっているのに黒板に何と書いてあったかを知っているとか、あの時の授業でこんなことをしたとかその記憶の鮮明さ。きっと、私に都合の悪い記憶は、付度したのだろうか!?



(煙突と月 延岡市出北 2023.12.27 5:44am)

そんなことを、思いながら二十数年前に一気に戻れる不思議さ、人間というものはほんとに面白き生き物だなと思う。

自分の命がいつか果てる日も来るだろうが、そのような夢のようなひと時を過ごせる時間こそ、ありがたきものなのだろう。出会いに感謝!



(夕焼け 宮崎市跡江 2023.12.23 17:20)